

大学入学共通テストを踏まえた 授業で扱っておくとよいポイント

数研出版 編集部

1. はじめに

2025年度の共通テストは、現行課程に対応した初めての共通テストでした。本コラムでは、共通テストを踏まえた、授業で扱っておくとよいポイントなどについてご紹介します。

2025年度の共通テストでは、大問数や小問数の変化があった科目はあったものの、どの科目でも問題の出題傾向は大きく変わりませんでした。つまり、これまでの共通テストと同様に、深い考察を要する問題が出題されています。「思考力・判断力・表現力」の養成は、これからも必要とされていくと考えてよいでしょう。

ここからは科目ごとに、現行課程の共通テストについてもう少し詳しい分析と、それを踏まえて普段の授業から触れておくるとよいポイントをご紹介します。

2. 物理

「物理基礎」では、第2問と第3問で実験に関する問題が出題されました(表1)。特に、第3問では、測定器のつなぎ方を考える問題や、実験誤差について考察させる問題など、実験に関する深い理解を問う問題が出題されました。

実験問題は、その実験を知っているかどうかで取り組みやすさに大きく差がつかます。そのため、授業や演習の中で実験に関する問題に多く触れておくことが重要です。また、授業の中で、実際に実験を行い、レポートにまとめることも有効です。実験の目的や手順を含め、実験全体について理解を深めておくことで、見慣れない実験にも素早く対応する力を養うことができます。

表1 「物理基礎」の共通テストの出題内容

大問	出題内容
第1問	小問集合
第2問	滑車を用いた重力加速度の測定(実験)
第3問	比熱の測定(実験)

「物理」でも、第2問で実験に関する問題が出題されました(表2)。第3問と第4問は実験に関する問題ではなかったものの、グラフを扱った小問が多かったのが印象的でした。

今後の共通テストでも、グラフを扱った問題が多く出題されると考えられます。そのため、授業では、物理現象をグラフを通して理解させることも重要になります。特に、グラフの傾きや面積を利用する問題は共通テストで頻出のため、授業でしっかり扱っておくとよいでしょう。

表2 「物理」の共通テストの出題内容

大問	出題内容
第1問	小問集合
第2問	単振り子の周期の測定(実験)
第3問	A 気体の状態変化、B 平面波の干渉
第4問	導体棒の電磁誘導

3. 化学

「化学基礎」では、現行課程特有の出題はなく、引き続き第1問は小問集合、第2問は見慣れない題材をもとにした総合問題が出題されました(表3)。

ここ数年は第1問だけでなく、第2問でも基本的な問題が出題されることがあるので、まずは教科書や問題集で頻繁に扱われる問題を確実に解けるようにしておくことが重要です。また、第2問で頻出のグラフや表を読み取って答える問題や、長い文章を理解して答える問題は、解き慣れておくことが効果的な対策になるので、さまざまな題材の問題を積極的に授業で扱い、本番で見慣れない問題が出題されても落ち着いて解けるようにしておくことが重要です。

表3 「化学基礎」の共通テストの出題内容

大問	出題内容
第1問	小問集合
第2問	気体成分の発見と質量保存の法則

「化学」では、現行課程特有の要素として、選択問題の第5問、第6問で、熱化学分野に関する問題が履修課程の違いに配慮して出題されました(実質的に問われた内容は同じ)。例年通り思考力を要する問題が多く出題されたことに加えて、石油の分留など盲点となりがちな知識を問う問題が増えたことで、試験全体としての難易度は上昇し、平均点も昨年より大幅に低下しました。

日頃から教科書や資料集、問題集を通じて、さまざまな題材に触れて慣れておくとういでしょう。

表4 「化学」の共通テストの出題内容

大問	出題内容
第1問	物質の状態
第2問	物質の変化
第3問	無機物質
第4問	有機化合物、高分子化合物
第5(6)問	総合問題(熱化学分野など)

4. 生物

「生物基礎」では、第1問と第2問で実験に関する問題が出題されました(表5)。特に第1問Bでは、仮説を検証するために与えられた実験の流れに沿って適切な操作を選択する問題が出題され、基本的な探究の流れを理解したうえで問題を解く必要がありました。そのため、実験結果から考察する問題だけでなく、仮説をもとに結果を予想する問題や、どのような結果が得られたときに、仮説が支持されるかを考えるような問題に触れておくことが重要です。

表5 「生物基礎」の共通テストの出題内容

大問	出題内容
第1問	細胞、DNA、代謝(実験)
第2問	自律神経によるからだの調節、免疫(実験)
第3問	生態系、世界・日本のバイオーム

「生物」では、いずれの大問にも実験・観察に関する問題が出題されました。なかでも、第4問では、与えられた実験結果から実験の操作内容を推論する問題が出題されました。

今後、実験結果やデータ、グラフを読み取って考える問題だけでなく、実験手順や方法について考察する問題も出題されると考えられます。教科書や問題集で基礎的な知識を押さえるほか、実験を扱う

際は、その目的や手順を含めて実験全体について理解を深めておくとういでしょう。

表6 「生物」の共通テストの出題内容

大問	出題内容 (すべての大問で実験・観察に関する出題あり)
第1問	生物の進化、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答
第2問	生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生
第3問	生態と環境
第4問	遺伝情報の発現と発生
第5問	生物の環境応答

5. 地学

「地学基礎」では、図や写真を用いた問題が多数出題されました(表7)。その中でも、第4問は自然災害や人為起源の現象を題材とした総合問題となっており、教科書では扱われない図を読み取って考察する必要があります。また、基礎的な知識を問う問題についても、図や写真を題材とした問題がすべての分野で出題されました。

このように、思考力を要する問題だけでなく、基礎的な知識を問う問題でも図が取り上げられることが多いため、まずは、教科書で扱われている図をしっかり理解することが重要です。高得点を狙う場合は、見慣れない図を扱った問題を攻略する必要があります。このような問題では、グラフ、分布図、柱状図、天気図、模式図など、さまざまな形式の図が出題されているので、これらの図を正確に読み取る力をつけておきましょう。また、図から読み取る情報は、教科書で学んだ知識にもとづいているので、問題演習を通して図と知識を結びつけて考察する練習をするとよいでしょう。

表7 「地学基礎」の共通テストの出題内容

大問	出題内容
第1問	A 太陽系の天体、プレート運動、B 火成岩の分類、火山災害、C 堆積構造
第2問	放射冷却、降水量と蒸発量の緯度別分布、海水の組成
第3問	A 宇宙の誕生、B 銀河系
第4問	自然現象や人為起源の現象の時間・空間スケール、地層の柱状図、地震活動と地震災害